湖南市における地域学校協働活動の取組

［取組状況］■地域学校協働本部　■地域未来塾　□放課後子ども教室　■土曜日の教育支援

■目指す姿

本市では、「子どもたちの育つ力を信じ、夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」をスローガンに掲げ、学校教育に取り組んでいる。「生きる力の根っこ」となる「自尊感情」は、「学力保障」、「仲間づくり」、「ふるさと意識の醸成」の取組の三本柱により育んでいる。

本市は、平成 19 年度の岩根小学校に始まり、令和3年度には全ての小中学校が学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなった。今年度は、市を挙げて、「原点回帰」を合言葉に、地域と一体となって子どもを育む目的、意義、そしてこれからの方向性の共有を図った。

■本年度の具体的活動

〇市内地域コーディネーター、事業コーディネーター等運営会議　年2回

第1回　4月 16 日(火)　・湖南市教育方針、「地域とともにある湖南市ビジョン」の周知

・地域コーディネーター委嘱状授与　・地域学校協働活動推進事業等の進め方について

・コーディネーターに期待すること　・事業別の交流

第2回　各中学校区において開催

日枝中校区　　11 月　1日(金)　　石部中校区　11 月28日(木)

甲西北中校区　11 月29日(金)　　甲西中校区　12 月 9日(月)

・取組状況・情報交換、ボランティアの募集工夫、今年度の成果と課題と次年度事業構想等

〇地域学校協働活動推進事業等にかかる合同研修会(兼:運営委員会)　令和7年2月 21 日(金)

1)功労者感謝状贈呈

2)研修:「地域とともに子どもを育てる湖南市教育　～原点回帰からの一歩～」

市内学校の地域協働活動、コミュニティ・スクールの在り方にフォーカス

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課　主幹　川口進一郎　氏をお迎えしてパネルディスカッション

■本年度の成果

〇湖南市がなぜ「学校と地域との連携・協働」に舵を切ったのか、当初の思いやこれまでの経緯を教職員の全員研修会で周知。さらに、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員へと広げたことで、多くの方が改めて「原点回帰」の必要性を自分事として考えるきっかけとなった。

〇管理職を交え、地域学校協働活動推進員等の運営会議を中学校区ごとに開催。それぞれに成果と課題を出し合い共有することができ、各中学校区内で連携していくことへの意識が高まった。

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

地域学校協働本部や学校運営協議会の創設時から中核となって活動してきていただいた方が高齢となられているため、今後委員の世代交代が求められる。持続可能な事業継続には一部の方に負担が偏らないような人的な広がりと継承、また各地域学校協働本部の活動資金面での経済的自立が必須であり、地域まちづくり協議会、地元企業等との連携・協働を一層進めていく必要がある。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

地域学校協働活動推進員全員を委嘱している。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

市内全 13 小中学校に学校運営協議会を設置済み。この内2小学校1中学校では地域の特性を生かし、中学校区学校運営協議会を設置している。あとは各校設置である。また、多くの学校運営協議会では委員に地域学校協働活動推進員を含んでいる。

【　中学校区運営会議より　】